

出張医学教育FD(伊那中央病院)

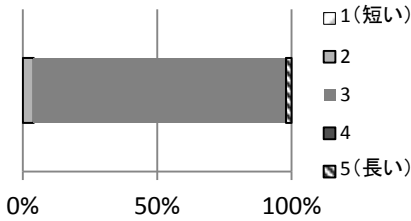
【日 時】平成31年 2月5日(火)

【参加人数】 53名

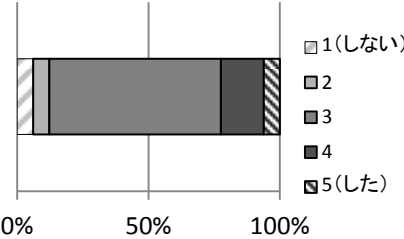
【講 師】多田 剛

【内 容】アセスメント(評価)の仕方

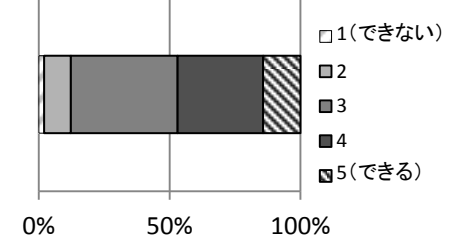
FDの開催時間はいかがでしたか。



FDはニーズにマッチしましたか。



学生の評価ができるようになりますか。



参加者の意見

学生に任せると、学生は喜ぶ。任せてやった方が良いという事		診療でどうしてもこの講義が受けられない先生に対し、ビデオ映像等でも見られるようにしてもらえるとありがたいです。
行動レポートに関して、コメディカルとの関わりを手助けするようサポートが必要と理解できました。	特にありません	行動レポートは学生時代に書くのに苦労させられましたが、研修医になってコメディカルから多くの事を学ばされることを実感しました。今後学生を指導する再にはコメディカルとの関わりを持たせられるよう、サポートしたいと思います。
学生は思った以上に多くのことができ、ある程度任せでも良いこと。	内容は理解していますが、当院にアジャストしにくい状況です。 院内の意識改革が相当必要と思います。	出席できなかった先生がこの説明を聞けるよう映像があると良い。(又は音声)
評価について	学生の可能行為について	この会は必要でしょうか?
学生をどこまで診療に介入させることが出来るか	学生が1人で診察や説明をし、医療過誤が生じた場合の責任の所在	まとめの日にち
大学側の教育理念、取組について色々と過渡期でご苦労様です		前説不要です。本題からお願いします「本日お願いしたいこと」からで充分です。
遠足の作文について		
病棟で学生にやってもらえることが理解できた。患者さんへの説明など学生だけでやってもらえるとうわかった。		
信州大学での取り組みの内容と当院でどのように動けば良いかわかりました。		指導の方法を決めるのは大変だと思います。学生への良いリードが出来るよう期待しています。
Mini CEX、ポートフォリオの役割	きちんとした行動が出来ない学生に対するフォローが薄く感じました。	
病棟業務を任せる事の重要性		
学生になるべく多くのことを経験させる、と。		
学生評価の重要性		
学生は仕事を任せ方が生き生きと実習すること。(実際現場で接している限り、そんな印象は受けませんが…。)	病棟実習を充実させることと、行動レポートの質との因果関係。看護師を含むco.medicalは、医学生の相手をするほど暇ではないと思います。	現在の市中病院に学生教育を任せるというスタイルは、ただでさえ忙しい日常業務の妨げになっています。学生も1か月も病院に軟禁されており、大して学べているとは思えません。もっと学生のうちは自由な時間を作ってあげた方がいいように思えます。現在のスタイルは、大学が学生教育を押し付けているようにしか思えません。正直、来ている学生のmotivationも高くないように思えます。
学生の対応	コツ	
・学生も造影剤の同意書がとれること。		
ポートフォリオの意味	特になし	
学生を信じろという事でしょうか		
学生に指導医がいないなくてもいいんだということ。	学生の受入をしていない科ではできることはあるのか。	
学生に病棟で一人でできる業務を与える必要があることを理解できた。	特にありません	
学生が出来る範囲の確認ができた	特になし	
学生とコメディカルの接点の不足	申し送りを学生にやらせる意義	
・先日はじめて学生の評価をしました。やり方が良く分からなかったのが理解できました。 ・どこまでやらせていいのかも不明でしたが病棟や外来の業務もやらせてもよいことがわかりました。		薬剤の副作用について説明したのちに、本当に生じたら、学生がかわいそうに思いますが、大丈夫ですか？
学生との関わり方		
学生も業務がしっかりと与えられた方がやる気を持ちやすいということ		
学生の評価		
学生との関わり方		学生との接し方、気兼ねなくできそうです。